

「住み慣れたまちの地域福祉を考える地区懇談会パート2」の参加者数及びアンケート結果

平成22年1月17日～3月14日

(特に表示がない数値は、単位 人)

1 懇談会参加者数・アンケート回答数等

地区	開催日	参加者	回答	回収率
茅ヶ崎	1/17(日)	26	25	96%
南湖	2/13(土)	20	18	90%
海岸	3/14(日)	21	21	100%
鶴嶺東	1/24(日)	28	28	100%
鶴嶺西	3/6(土)	17	15	88%
湘南	1/29(金)	27	24	89%

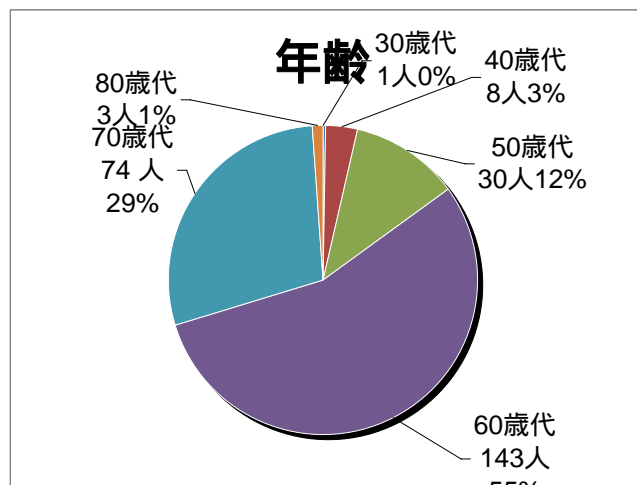
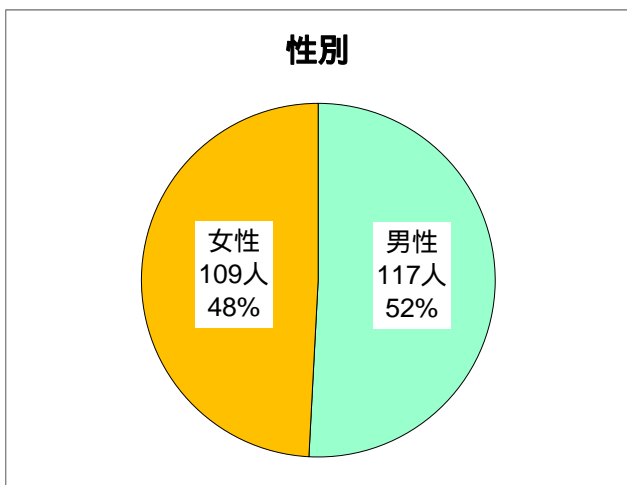
地区	開催日	参加者	回答	回収率
湘北	1/30(土)	15	15	100%
松林	2/21(日)	25	22	88%
小和田	1/22(金)	23	21	91%
松浪	2/7(日)	19	17	89%
浜須賀	2/10(水)	32	30	94%
小出	2/14(日)	35	26	74%
合計		288	262	91%

2 アンケート結果

(1) 性別・年齢(問1・問2)

	男性	女性	計
茅ヶ崎	14	11	25
南湖	12	6	18
海岸	6	15	21
鶴嶺東	13	15	28
鶴嶺西	10	5	15
湘南	14	10	24
湘北	10	5	15
松林	11	11	22
小和田	13	8	21
松浪	10	7	17
浜須賀	11	19	30
小出	9	17	26
合計	133	129	262

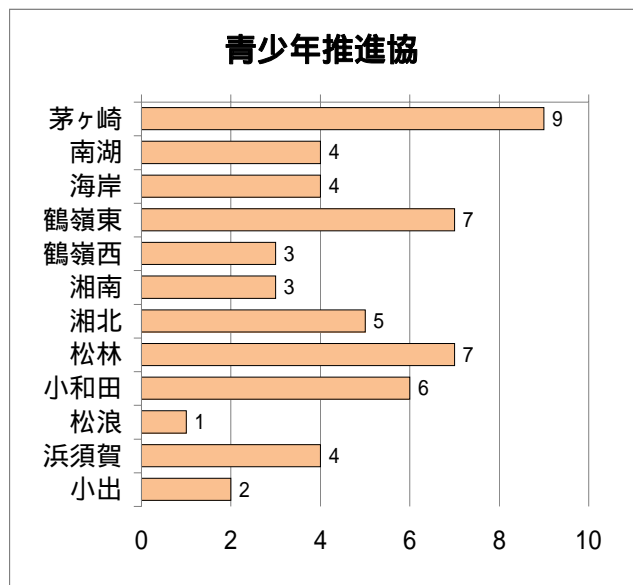
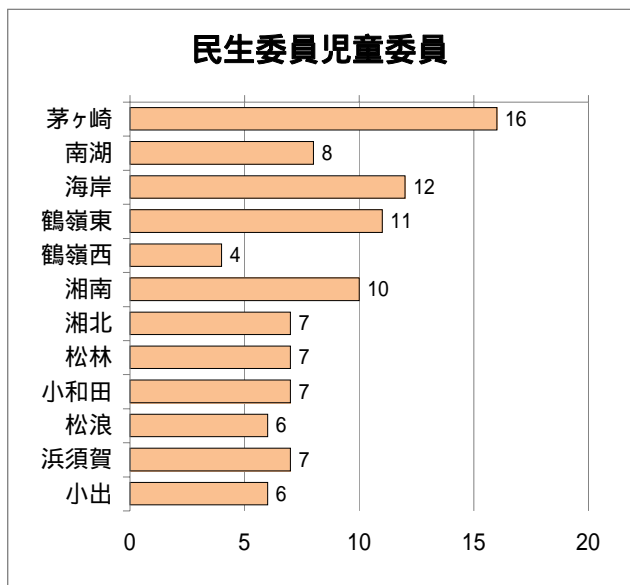
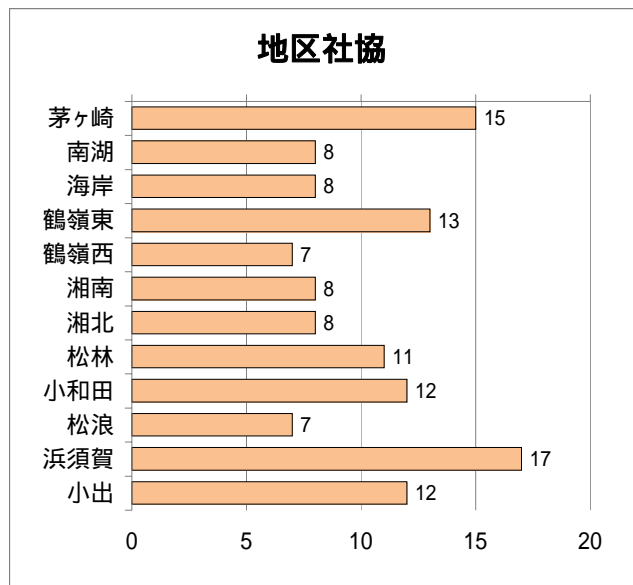
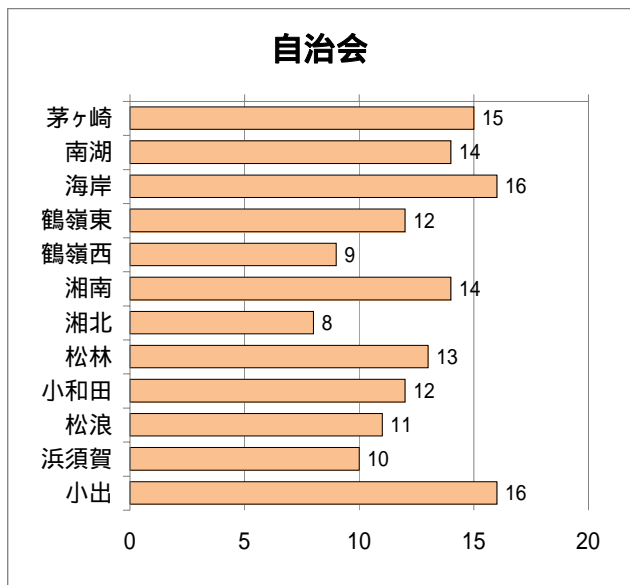
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	未記入	計
				5	12	8				25
			1		10	6	1			18
				2	12	6	1			21
			2	7	13	6				28
			1	4	9	1				15
			1	5	11	7				24
		1			10	4				15
			1	4	13	4				22
				2	10	9				21
			1		7	8	1			17
			1		23	5			1	30
				1	13	10			2	26
		1	8	30	143	74	3		3	262



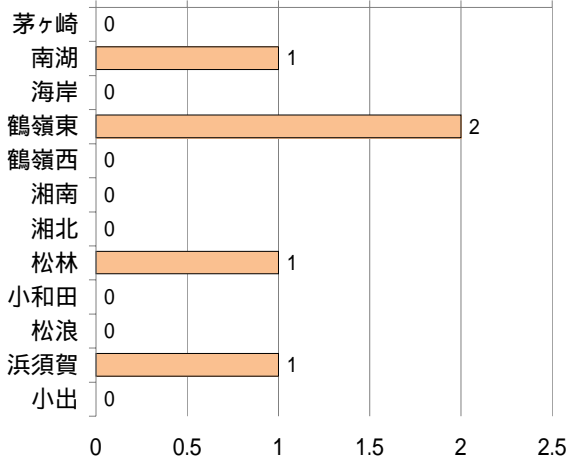
(2) 地域での参加活動(問3)

	自治会	地区社協	民生委員 児童委員	青少年 推進協	子ども 会	老人 クラブ	体育協会 ・振興会	ポラン ティア	その他	未参加	未記入
茅ヶ崎	15	15	16	9		6	3	3	2		
南湖	14	8	8	4	1	5	2	1			
海岸	16	8	12	4			1	1	1		
鶴嶺東	12	13	11	7	2	1	1	9			
鶴嶺西	9	7	4	3		1		6	2		
湘南	14	8	10	3		3		4	2		
湘北	8	8	7	5		1	1	3		1	
松林	13	11	7	7	1			7	5	1	
小和田	12	12	7	6		3		10	1		
松浪	11	7	6	1		1		3	5		
浜須賀	10	17	7	4	1		3	16	2		
小出	16	12	6	2		6	3	16	7		1
合計	150	126	101	55	5	27	14	79	27	2	1

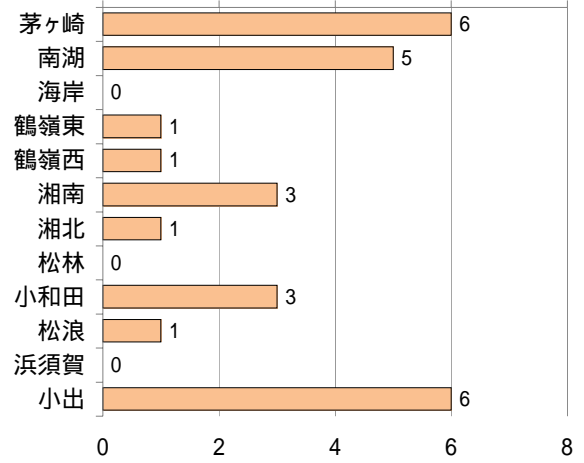
*その他...サロン、婦人会、保護者会、放課後プラザ、NPO法人等



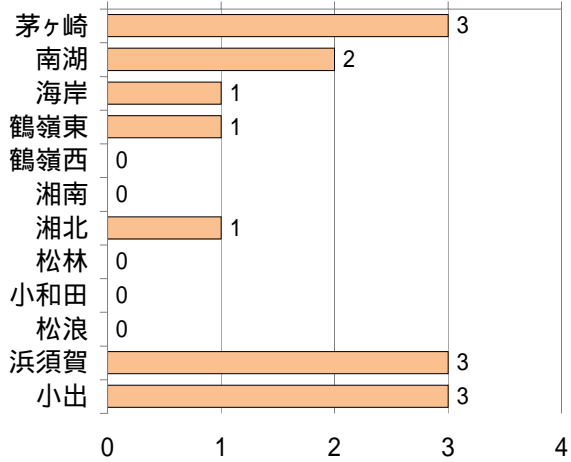
子ども会



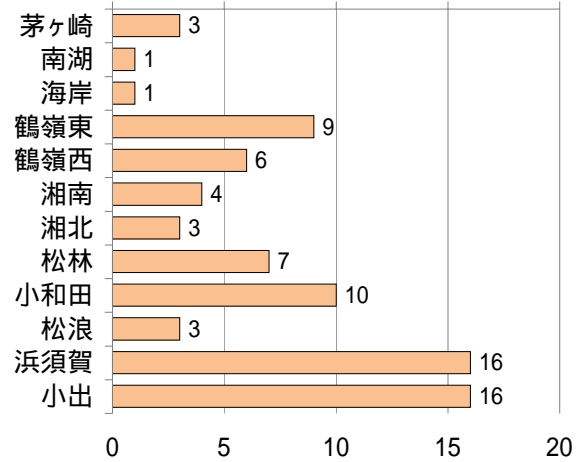
老人クラブ



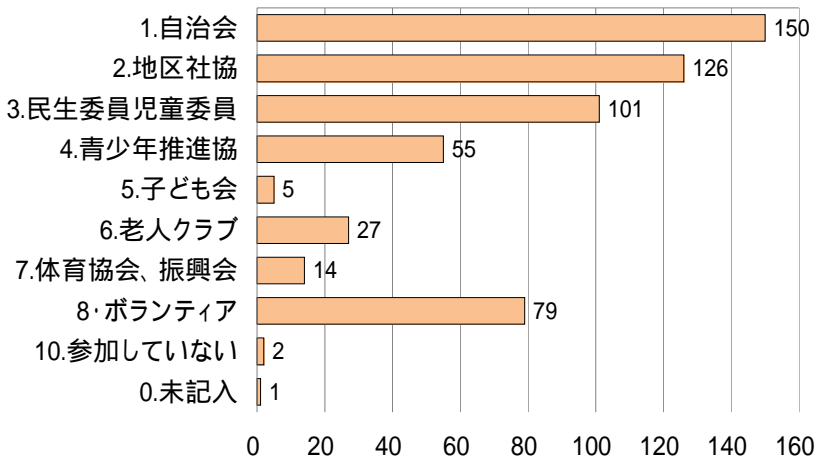
体育協会・振興会



ボランティア



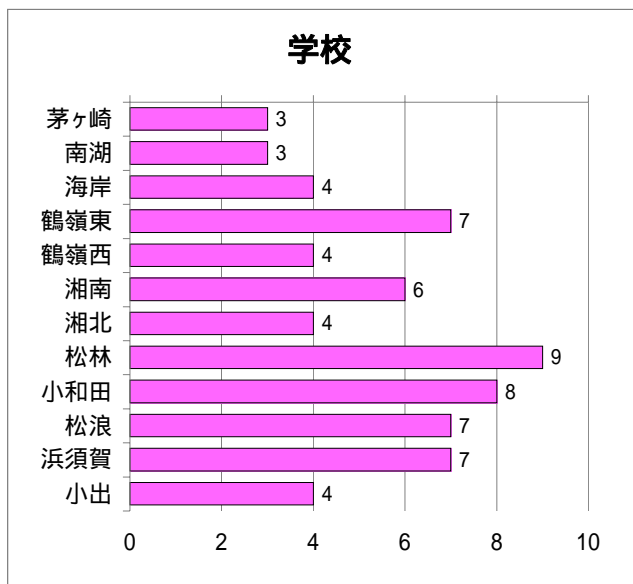
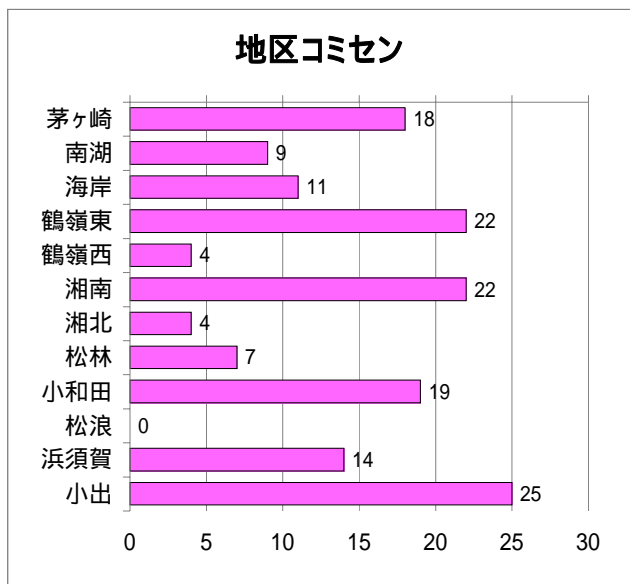
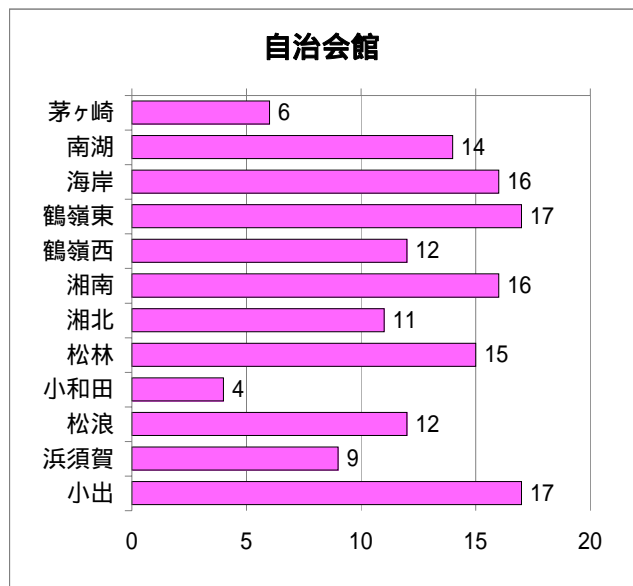
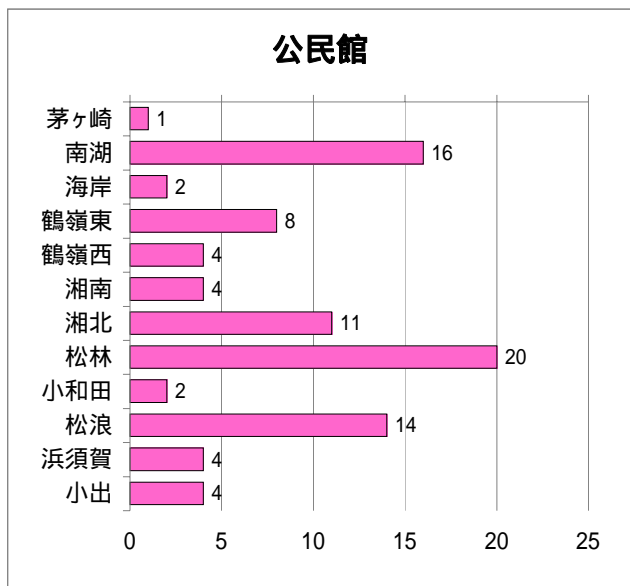
参加している活動



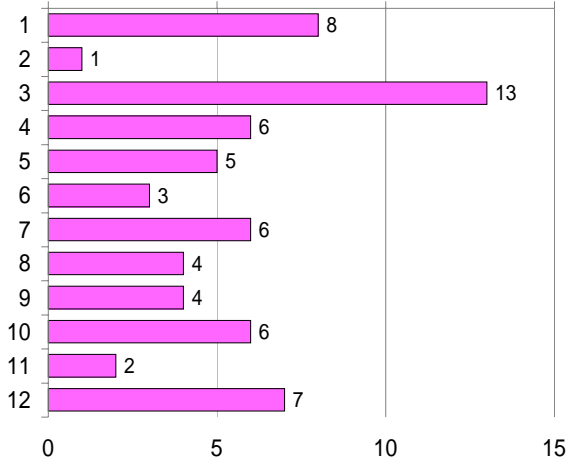
(3) 地域活動を行っている場所(問4)

	公民館	自治会館	地区コミセン	学校	福祉施設	個人の自宅など	その他	未記入
茅ヶ崎	1	6	18	3	8	2	3	1
南湖	16	14	9	3	1	3		1
海岸	2	16	11	4	13	2	1	
鶴嶺東	8	17	22	7	6	4	6	
鶴嶺西	4	12	4	4	5	1	4	
湘南	4	16	22	6	3	1	3	
湘北	11	11	4	4	6		2	1
松林	20	15	7	9	4	3	3	
小和田	2	4	19	8	4	1	5	
松浪	14	12		7	6	3	5	
浜須賀	4	9	14	7	2	4	9	
小出	4	17	25	4	7	3	1	
合計	90	149	155	66	65	27	42	3

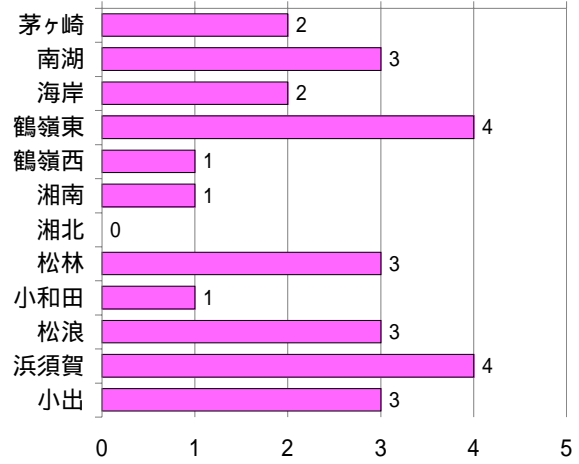
*その他...団地・マンション・自治会集会所、地区VC、農協ビル、サポートセンター、公園・野外 等



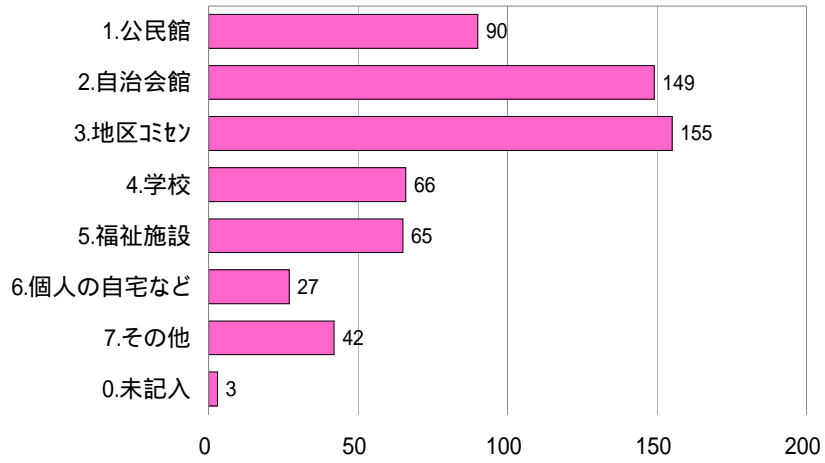
福祉施設



個人の自宅など



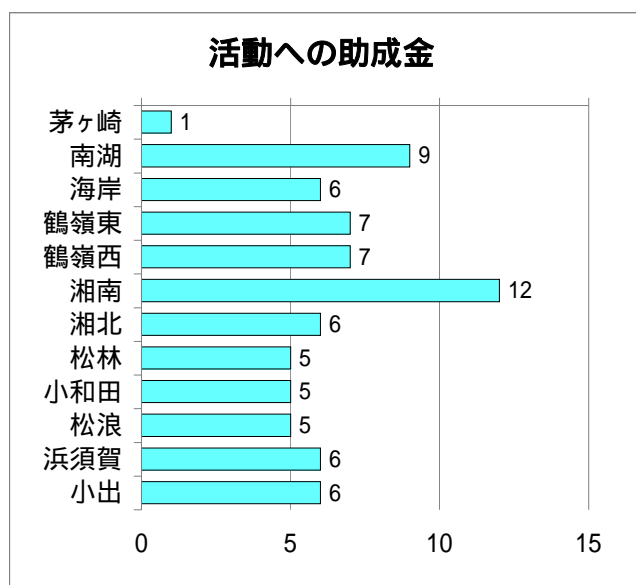
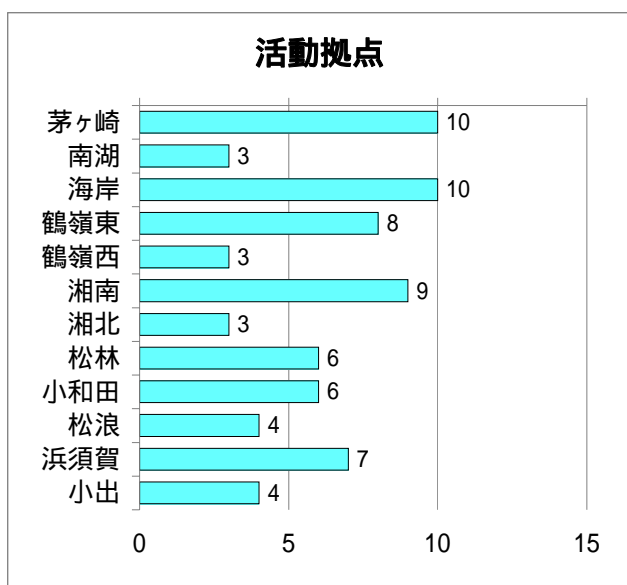
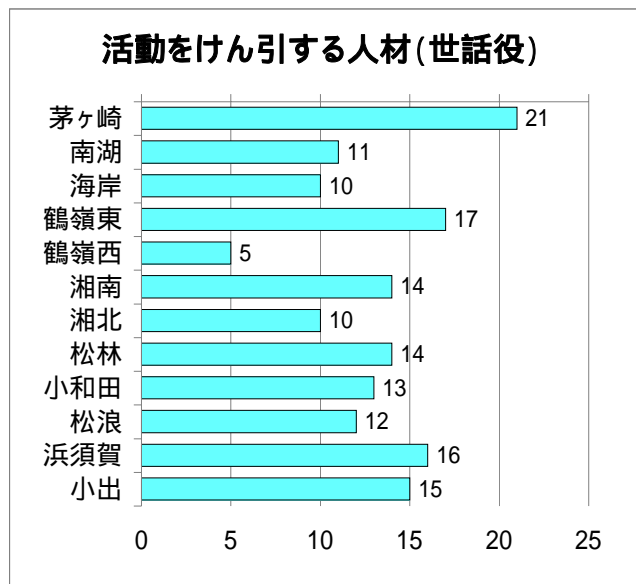
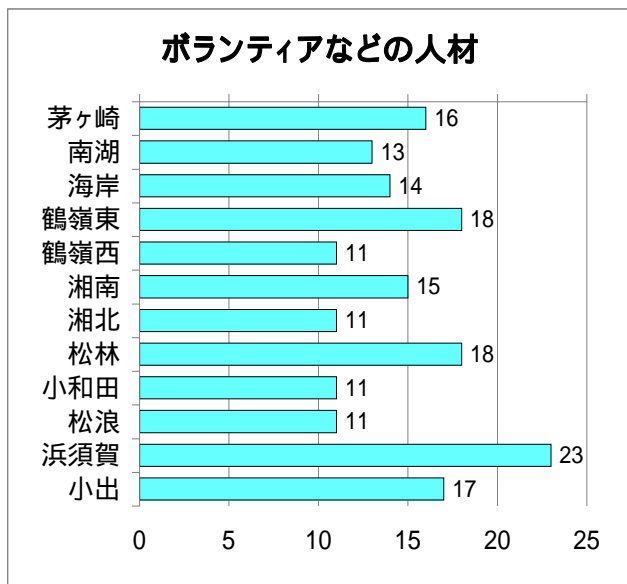
地域活動を行っている場所



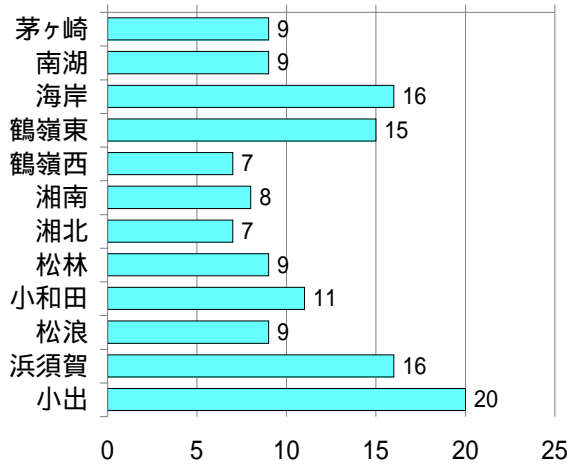
(4) 地域活動を活発化させるために必要なこと(問5)

	ボランティア などの人材	活動をけん引 する人材	活動拠点	活動への 助成金	ボランティア・ 団体の連携	その他	未記入
茅ヶ崎	16	21	10	1	9	1	
南湖	13	11	3	9	9	1	
海岸	14	10	10	6	16		
鶴嶺東	18	17	8	7	15		2
鶴嶺西	11	5	3	7	7		
湘南	15	14	9	12	8		
湘北	11	10	3	6	7		
松林	18	14	6	5	9	2	
小和田	11	13	6	5	11		1
松浪	11	12	4	5	9		
浜須賀	23	16	7	6	16	1	1
小出	17	15	4	6	20		
合計	178	158	73	75	136	5	4

*その他...組長等を中心とした地域での交流、地域の中での話し合い、グループの若返り 等



ボランティア・団体の連携

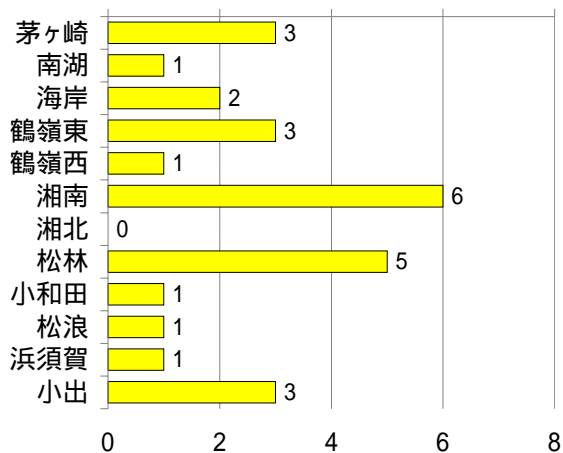


(5) 懇談会の開催希望 (問6)

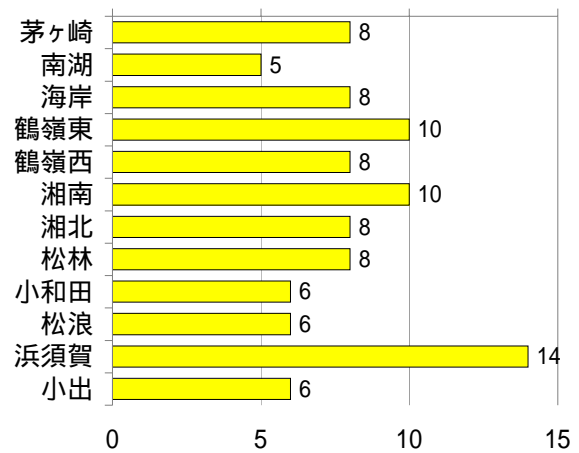
	3~4か月に1回程度	年1回程度	年2回程度	既の実施済み	必要ない	その他	未記入
茅ヶ崎	3	8	10	1		1	1
南湖	1	5	9			1	2
海岸	2	8	7		1		3
鶴嶺東	3	10	9	1		3	4
鶴嶺西	1	8	4	2			
湘南	6	10	6	2	1		
湘北		8	3	2		2	
松林	5	8	6		1		2
小和田	1	6	7	1		1	5
松浪	1	6	4	5			2
浜須賀	1	14	8	2		2	3
小出	3	6	12	1			4
合計	27	97	85	17	3	10	26

*その他...出席する団体はまだある、参加したいが時間がない、自分たちで具現化したい 等

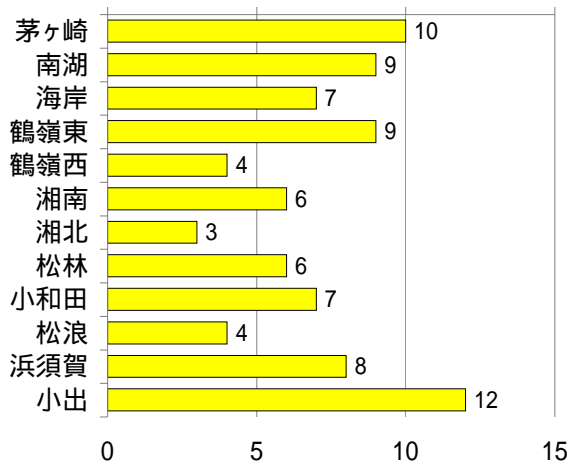
3~4か月に1回程度は集まりたい



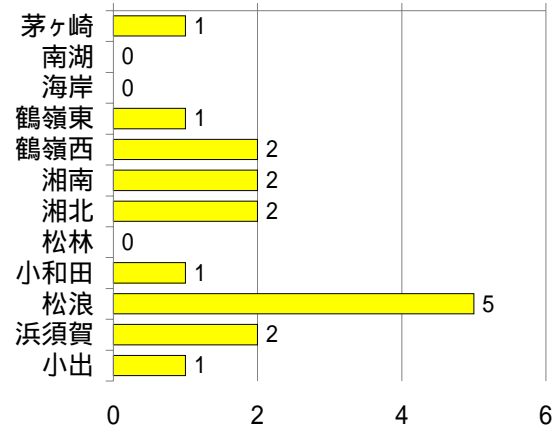
年1回程度は集まりたい



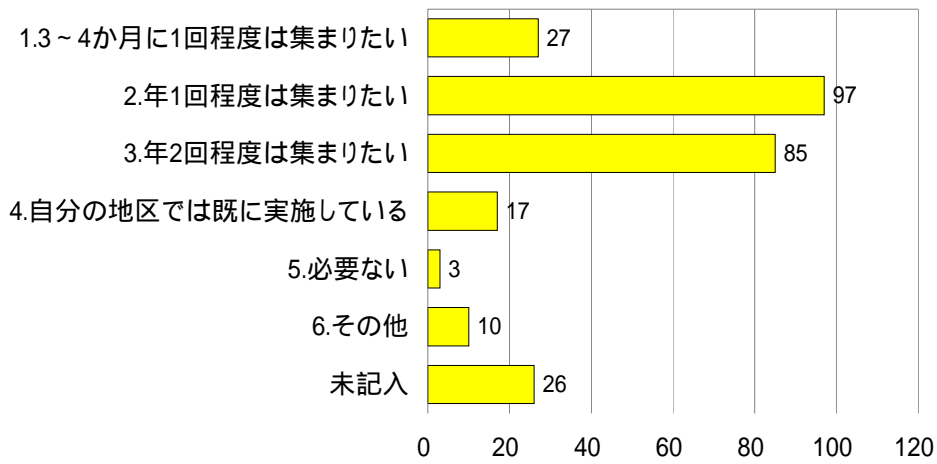
年2回程度は集まりたい



自分の地区では既にも実施している



懇談会等の開催希望



3 アンケート自由意見（一部要約）

地区	自由意見
茅ヶ崎地区	<p>事例でない、その地区内でのケースだともっと良かった。</p> <p>地域の住民による福祉推進というテーマで事例を知りたい。市内、県内、都内など新聞やTVなどで紹介、報道のまとめで良い。その中で当市の推進出来るケースを考えていくことも手っ取り早い策と考えられる。</p> <p>6班に分かれて発表を開いて一番思った事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所のつきあい（元気な時に） ・自治会などに顔を出して ・趣味をもって外に出るように ・あいさつ、声かけ（むずかしい？） ・緊急の時の援助 <p>地域でのあいさつが大事！</p> <p>孤立している高齢者をどう地域に出て来てもらえるかが今後の課題だと思う。</p> <p>自治会としての立場より意見</p> <p>自治会を始めボランティア活動に協力してくれる人材不足で悩みが多い。十間坂地区はマンション・アパート及び新住民が多いので協力態勢が得られず困惑しているのが現状である。自治会として独自の高齢者支援対策を一昨年より設けている。災害時要支援者支援協議会を設置し、70歳以上の高齢者を対象として回覧にて要支援者を募ったところ350名の希望があった。協議会組織、自治会、民生委員、婦人会、老人会、防災会、消防分団、十間坂第六天神社役員等で組織している。</p> <p>せっかく集まる機会を作って民生委員ばかりで出席者が少ない。とても残念に思う。様々な方に出席してもらいたいと思う。いかに出席してもらおうか「テーマ」である。今は参加して良かったと思う。</p> <p>高齢者が増加していく今の状態なるべく孤立しない様地域の集いを企画して外出できる様お願いする。民生委員として協力したい。</p> <p>末端での支援体制（組織的な）を具体的に考えるべき。民生委員だけに頼るのではなく。高校生達が積極的にボランティアに活躍して欲しい。</p> <p>地域福祉の全体像を策定してほしい。公助、共助の体制づくりが基本になると考える。地域福祉に関係する人材育成を望む。</p>
海岸地区	<p>地域パトロールを密にし、近所を見守りたい。</p> <p>気楽に集まって楽しめる場をいくつか作ってもらえたらよいと思う。</p> <p>地域福祉を支える力のご近所だと思う、近所力を高める方法を考えていく。</p> <p>今回の地区懇談会に出席できて非常に参考になり、要支援者に対して協力していきたいと思う。</p> <p>これからの目標として、ボランティア サービス ルームなど必要と思う。社協に望まれる課題。</p> <p>私は自治会なので民生委員主体して自治会はフォローする方が良いと思う。民生委員が動きやすい方向性に自治会も協力する。</p> <p>各自治会にて対処することが必要で、民生委員との日頃の打合せをして行動していくことが第一と思う。</p> <p>自治会との関係を密にしていきたいと思う。</p> <p>近隣、民生委員、自治会、行政と連携して支援していけたらと思う。</p> <p>自治会、民生委員、行政、地域のみなさんが協力してより住みやすい楽しい元気な地域に</p>

	<p>していけたらよいと思う。 今回の事例で、近所付き合いの大切さは分かっているが、近所付き合いが大変疎遠である事が問題。自治会、地区社協のお力で地域力を高めて欲しい。 地域内での協力は大切だと思うが、一番必要な事は隣近所、顔見知りとのコミュニケーション。健康な時からの付き合い方 立ち上げなくては、とは思いますが、第1に「何」を「どうすれば」よいのか手がかりが欲しい。浜須賀地区等の見学が出来ればと思っている。 あまりよく分からないことばかりなので、少しずつ勉強していきたいと思う。</p>
鶴嶺東地区	<p>自治会を通じて日常の生活の延長線上で福祉を考える。地域福祉を前面に出した活動はしない。 自治会に入会していない人をどのように紹介するかが問題である。地域の行事等も参加出来なく「キッカケ」がない。 行政、協議会からのご出席者の氏名を作成すべきと思う。近所での挨拶の習わしは非常に大事だと思った。 個人情報(プライバシー)の問題がネックとなっている。どの程度まで許されるのか。基本的人権を基本に接することの難しさを感じている。隣近所仲良く、明るい声かけを推進していくことを自治会ぐるみで行っている。 現状よりも小さい地域でのサロンとか茶話会など出来たらいいと思うが、経費・人材等思う様に行かない。 鶴嶺東地区は8自治会ある。将来的には、拠点を各自治会に1ヶ所ずつあれば拠点場所に集いやすいのではないか。活動も近所の方が活動しやすいと思う。 話し合いで終わることなく、自分の所属しているところで具体化したい。ボラセン発足に向け努力中だが、活動の中で見えてくる物も多いのではと思う。他人の問題ではなく、自分の問題であることを痛感した。肝に命じて生きていきたい。 あまり押しつけ的な声掛けは必要ないと思う。基本は相手の人格を尊重し、哀れむ事なく対等な立場で接する事が重要。プライドをキズ付けられるとかえって関係が難しくなる。行政や民生委員にお願いしなければならない事は別にして、ご近所の協力態勢が一番大事と思う。 当地区では今日の懇談会に出席する団体はまだあると思う。地域活動(福祉)ネットワーク作りは重要事項であり必須条件であると思う。魅力ある地域活動とは、その場しのぎではだめ、継続するための方法等考える時。 異なる団体のメンバーがグループを編成し話し合うことは効果的である。 どのように隣近所とのコミュニケーションを形成していくかを課題に討議することが必要ではないかと思う。 様々な団体、個人が連携しない、温かい地域になるよう願っている。 本日の例題内容もう少し詳しく記入されている方が良い。1時間位の間ではなかなか考えつきにくい。前日位迄に各出席者へ資料配布した方が良いのかもしれない。次回例題内容は詳しくお願いしたい。 日々研修あるのみと思う。</p>
鶴嶺西地区	<p>当地区も来年以降、包括支援センターが設置されるが、併設されるボラセンと連携をしてより良い支援が出来るようになることを望む。ボランティアの参加、支援が出来るような環境整備、周知の方法を考慮していく必要がある。 うつ、拒食症など、いろいろな患者の集まりもある。私は茅ヶ崎断酒新生会に入会していますが、茅ヶ崎市内の酒害状況などが全く見えていない。いろいろな情報交流、人材交流の必要を感じる。</p>

	<p>高齢化が一層進む状況で民生委員の人数増員や社協の体制強化などで一人一人のボランティアの負担軽減を配慮すべき。支援や介護を受ける人を支えている人(家庭内)への配慮は何かあるのか。</p> <p>鶴嶺西地区は、ボランティアの人材に限られ(同じ人ばかり)、活動の広がりがとても将来心配である。活動の根を広がるように目指したい。人材を広く求めていきたい。地域活動の様子の理解を深めたい。</p> <p>見守りが必要な家庭に民生委員児童委員の範囲の限界の場合、隣近所をお願いできるボランティアがいたらよい地域関係を作り下地になるのかなと思う。</p> <p>高齢者、障害者など、支援を要するであろう者のリストなどの情報を提供して欲しい。(ボランティアセンターの運営上)</p>
<p>湘南地区</p>	<p>地域の役員の方々だけでなく幅広く色々な方々に参加してもらいたい。一般の方々にも参加してもらうには、自治会を通して班の方々に知らせる参加を呼びかけてほしい。</p> <p>自治会の役員会には自治会から推薦している諸団体役員も一緒に入って頂いて情報交換をしている。一体になって取り組んでいることが大事かと思う。</p> <p>地域福祉等に参加して来れる人材がいない。今後の人材集めの方法等検討していただきたい。</p> <p>今回の懇談会への参加は初めてであり、他の老人クラブ等の参加が無いようですが今回だけの事ですか。様々な立場の人が集まって議論する事が必要だと考える。</p> <p>地域のコミュニケーションを取り合う為には、行政の協力が必要です。行政との連絡・情報を個人情報に配慮しながら密にしてほしい。</p> <p>個人情報の公開制度、新旧住民から成る地区など情報が流れにくい面や拒否反応などが地区活動の輪の広がりに足止めをかけている様な気もする。</p> <p>各ブロック共に良くまとまり発表されていた。今後もこれを元に地域で困っている近隣の人達に協力して貰い、住み良い地域にしたいと思う。行政の支援をよろしくお願いしたい。主に地域住民の情報と支援が必要で最終的に行政に委任する。</p> <p>新たな生活弱者が出ない様な対策が必要。(介助者への支援等)</p> <p>介護保険の運用が不適切だと思う。健康保険は医療機関へ受診すれば即使用。患者の意志で受診できる。しかし介護保険料を納入していても介護を受けるのに事前審査等期間がかかり、老人の場合介護保険を適法に活用できないうちに死亡するケースなどがあり、まったく不合理と思われる。国に早期に改正・改善を申し入れてほしい。介護保険も健康保険と同様の利用ができるよう改善すべき。(発足当初介護請求はお手伝いさんがわりにする。実際は健康なのにタクシー代節約等、人間性無視の心配が横行し、その防止が論点の中心であったためだと思う。)</p>
<p>湘北地区</p>	<p>湘北地区は地域福祉の推進について真剣に考えている。福祉計画の作成も出来上がっているようであるが、具体的な計画、そして実施に向けて努力してほしいし、私自身も協力し地域の福祉に貢献したいと思っている。</p> <p>地域福祉の中で今後無縁社会が広がって行くと思う。それに対する対応を考えて行って欲しい。</p> <p>行政・市社協及び地域の連携・交流に役立つ場となったと思う。行政としての支援(地域に無理のない形を前提に)をよろしく。</p> <p>今は新しい情報がどんどん啓発している。地域住民、行政の情報交換をもっと活発にしたい。</p> <p>新米民生委員としては今日の話し合い参考になった。地域内での連携が大切なことと思うので、住民1人1人が福祉に目が向くような努力も必要かと思う。</p> <p>もう少し若い世代の方が参加した機会が欲しい。PTAや子ども会役員等が是非地域活動</p>

	<p>の事務がとれる部屋環境を望む。集会の場所を考えがちですが、準備のためのボランティアメンバーは自宅で行っているのが大半である。各グループが集まれる専用事務室と共通フロアがある建物を望む。</p> <p>茅ヶ崎市役所と（社会福祉法人）茅ヶ崎市社会福祉協議会と2系統あり、施策等の統一が必要では。本日の会には一般市民も参加が必要なのでは。</p> <p>初めて参加したが、やはり地域活動には積極的に参加しなければいけないと思っているがなかなか時間が…。また機会があれば参加したい。役職を持っている人だけでなく一般の人達の今回の様な地区懇談会を企画されると一般市民の考え方が解るのではと思った。もう少し枠を広げた人の話も聞きたかった。</p>
松林地区	<p>事例のような事が近隣でも起きている。人と人のつながりが薄れているので寂しいのかも知れない。ますます自治会やボランティア、民生委員の役割は大きくなりそうである。行政 地域のコミュニケーションが大切だと思う。何度かこういう話しをする事も大切だと思った。事例があり、話しが具体的でよかった。</p> <p>専門知識を持っているコーディネーター育成・配置、専門知識を持っているカウンセラー育成・配置が急務。</p> <p>専門的なコーディネーターの育成が必要だ。</p> <p>「グループ」の方々はベテランの力があり地域への推進役として適任だと思う。</p> <p>ボランティアの育成が大事だと思う。地域でボランティア講座を行ったらどうだろうか。今後の福祉は、地域が基盤である。もっと力を入れて活動したいと思う。</p> <p>複雑な地域福祉（自治会、社協、地区社協、民生委員等）もっと「簡素化」して、古い体質を改善しないと誰でもが参加できる地域福祉にはならないと思う。</p> <p>年2回ぐらい懇談会の実施をお願いしたい。気軽に話し合いが出来る環境整備が必要だと思う。福祉関係の講演会に出席を多くする事が大切だと思う。（行政の窓口を有効に活用すべし。）</p> <p>この様な懇談会に出席出来てとても良かった。市の方、地域包括の方、社協の方とコミュニケーションがとれて良かった。忙しい方々ですが年2回位この様な会がもてたらいいと思う。</p> <p>この様な会が多くある事を希望する。</p> <p>今日の様な集まりが定期的に行われ、皆が顔見知りになって地域の問題を共有したら良い。松林地区では民児協の月例会時に情報提供をさせてもらったり、地区社協・公民館共催の異世代交流会、民生委員・自治会長の方々も出席して災害時要援護者交流会等、松林ケアセンターを受け入れてもらって様々な連携を続けてきた。市の建物であるケアセンターが場所も広さも又駐車場も有ることから集まりやすいのではないかと思う。私達松林ケアセンター職員も地域との連携を重点目標にしている。今後も機会があれば利用してもらいたいと思う。</p> <p>各自熱心に自分の意見を発信する場所が有る事は貴重な事だと感じた。土・日7時(夜)は避けてほしいとの意見を沢山聞いた。</p>
小和田地区	<p>ボランティア等福祉に係る人の年齢が高くなっており、若い人を多く募集してフットワークを軽くした方が良い。</p> <p>今回初めての参加であった。意見等を提案したが、考えてみると私始め皆様が提案した意見が具体化出来るのか。問題のある人が心を開いて提案・提言を受け入れてもらえるのが疑問に感じた。一人暮らしの高齢者、老々介護の問題について具体的な事例は周辺にはないが、今回の事例だけではなく、今後の取組が必要となる。</p> <p>福祉関係の集まりには初めての参加であった。地域の福祉活動への協力はどの様にしたら良いのか知りたい。</p>

	<p>福祉のつどい等の福祉関係の行事に参加に当り高齢者、障害者の送迎（車）を考えて欲しい。今は私が自家用車で送迎している。</p> <p>今回の事例はなかなか難しい問題であったが、基本的には日常生活の中で近隣の方々がお互いコミュニケーションをとることが解決の一つになると思われ、地域の中での人と人とのつき合いを大切にすることが一番だと思われる。</p> <p>様々な事例検討会を回数を増やしてやるべき事例が難しかった。もっと身近に考えられる事例、説明をもっと詳しくしてほしい。このような勉強会、良かった。</p>
<p>松浪地区</p>	<p>今日はじめて参加して一つの事に対し様々な対処方法を考えるという事はとても楽しかった。10人いれば10の事がわかった。様々な考えをする事により、より良い協力が得られるのだと思った。</p> <p>今日の地区懇談会の目的をその結果から何を導き出したいのかわからなかった。事例設定がよくできていた。</p> <p>地域福祉を支えるコーディネーターの役割は重要です。人材育成への手だてをよろしくお願いしたい。</p>
<p>浜須賀地区</p>	<p>隣近所、自治会の方々と高齢者の方の家や問題のある様子を共通に認識していく様子を話し合うことをやっていくことが大事だと思う。</p> <p>地区社協が地域の自治会をリードするような団体でなければならない。</p> <p>弱者支援の主体は自治会が負うべきだ。（その自治会役員が1年で交替するようでは問題だ。）</p> <p>地域の問題は地域で・・・と言われて久しいが、なかなか周知させることが難しいのが現実と思われる。今度、地域福祉計画（後期）をより積極的に市民に理解、協力できるようにしてもらいたい。個人としてはボランティアセンターの本当の意味での拠点となる様に努めたいと思う。</p> <p>毎日利用できる場所があったらいいと思う。</p> <p>高齢化社会が進んでいる為もっと地域で自由に集まり、特技等をお互いに発表したり楽しめる場所を増やしてもらえたらうれしいと思う。個人のお宅でも提供してくれる方もいると思う。</p> <p>私達が高齢者に手を差し伸べることは大切と思うが、次の段階として高齢者の居場所を作っていくということも考えていくと良い。（高齢者も出来ることは分担していく）</p> <p>引っ越して来た方、10年未満の方が多い地区で自治会役員も毎年全員変わる所なのでこういうケースワークを身近なところでしてもらえるのは非常にありがたい。もしできるのであれば組長会議等で地域福祉に関して30分ぐらいで話していただくとありがたい。</p> <p>高齢者が増えてきているので憩いの場がほしい。</p> <p>見えていない問題点（自ら申し出ない）を探りサポートしていくことがとても難しいと思う。きめ細かい対応がこれからは必要である。</p> <p>今回の事例以上に深刻な問題が多々有ります。どうやってフォローしていったら良いのか。</p> <p>昔のように隣近所の助け合いができにくい世の中である。困ったことがあってもただ見ているだけでは解決しません。誰かがやるだろうとただ待つだけでは何も前に進まない。勇気を持って声かけから進めていきたい。</p> <p>事例での研修はとても良いと思う。今日は一例だった。二例あってどちらか選べるのもいいのでは。</p> <p>地域の福祉に関係する各種の団体が交流する出来る企画はたいへん有益である。</p>

	<p>自治会連絡協議会等に地区社協の活動のPRを定期的にする事が必要。グループ討議方式は今後も考えて年1回程度あると良い。</p> <p>こういった会合自体は有意義だと思うが、計画を消化するためにはやる必要はない。むしろ積極的に数回/年実施しても地域福祉に結びつくものを考えていただきたい。</p>
小出地区	<p>ボラセンの活動に期待する。</p> <p>新しい出会いができてよかった。今後の活動に役立てていきたいと思う。</p> <p>自宅に引きこもるのではなく、なるべく人の集まる集会、イベント等に参加できる様自分も又近所の方も自治体も様々な方が見守る必要がある。</p> <p>地域包括支援センターの役割が良く理解できた。ご近所で小さな変化が起きた家庭に気づき見守ってあげる存在になりたい。日頃健康なうちにつながりをつけておきたい。</p> <p>第1回目は出席できなかったが、地域で協力したり助けていただくことも大切。隣近所と仲良く話しができるよう心がけたいと思う。予防が必要だと感じる。</p> <p>私は3ヶ月に1度「ほのぼの小出」に65歳以上の方に集まってもらいサロンを開いている。参加者が高齢になってしまい少なくなってしまった。多い時は50名近く参加があったが、今は40名前後になっている。9年目になり送迎をしている。</p> <p>昨年誕生したばかりのボラセンに従事する機会を得てはじめて地域の方々に何かお役にたてたらと思うばかりだったのが直に接してみて、今後を考えると出来る内容の充実が分かる様な気にもなる。サポートしてあげる今の自分が永く続くことを願っている。</p> <p>行政としての協力がなければ難しいので協力をお願いしたい。(予算も含め)地域の協力をすすめることが必要なので、そのPRが必要。</p>

*南湖地区は、自由意見がありませんでした。